



医療法人慈孝会 福角病院

地域連携室です。

【チームワークと熱意で】

近年の回復期リハビリテーション病棟は「成果主義」として、リハビリテーション実績指数の導入がなされ、リハビリの成果に応じた診療報酬の体系になりました。

リハビリテーション実績指数を向上させるためには、①FIM を上げること、②在院日数を短くすること、の2点が挙げられます。

当院においては、患者様毎に2週間に1回の院内カンファレンスを開催し、情報の共有に努めています。また、病棟で看護師、介護士が主となって患者様毎の病棟リハビリを提供し、療法士が提供するリハビリテーション以外にも、FIM が1点でも上がり、早く自分で動作が出来るよう一生懸命取り組んでいます。

在院日数の短縮については、相談員が主体となり、患者様本人、ご家族様の希望を確認し、素早く関係各所との連携を図りながら進めています。ただ、一方的に退院を急かすのではなく、公的サービスの選定、住宅環境の整備等を行い、患者様本人、ご家族様の希望に沿え、家に帰った後も困らないよう努めています。



理学療法士 藤田 昌宏
(回復期リハビリ病棟 主任)



【回復期リハビリテーション病棟 入退院状況 (2019年2月末現在)】

- ①退院許可から当院転院までの平均日数(過去3か月間) … 8日
- ②在宅復帰率(過去半年間) … 83%
- ③疾患別割合(12月) …
 - 脳血管 63%
 - 運動器 28%
 - 廃用症候群 5%

☆診療情報提供書を確認させて頂きましたら、医師等と受け入れについて速やかに検討し、お返事をさせていただきます。



2月11日、愛媛マラソンがあり、当院からも医師・リハビリ・看護師・介護士など参加しました。写真では捉えることができませんでしたが、全員好成績で完走しました。

この体力と根性を仕事にも生かしています。



【さくら保育園から】

敷地内に『さくら保育園』があります。天気の良い日には敷地内を散歩している様子を見かけることができ、患者さんの癒しのひとときになっています。



『最近のさくら保育園の子どもたちは、冬の寒さに負けず戸外で体を動かして遊んでいます。冬になり、風が冷たくなったことや太陽が昇ると暖かいことに気づき、季節を感じて遊びが発展することもあります。昆虫が見つからなくなると「寒いからお家で休んでるんだね!」という会話もあり、可愛い発想が止まらない毎日がワクワク楽しいです。』



【在宅サービス紹介】

地域包括支援センター

高齢者の総合相談窓口です。お気軽にご相談ください。

『城北』 松山市堀江町甲 338-2 ☎ (911) 8005

【対象地域】堀江・和気・久枝・潮見

『北条』 松山市河野別府 937-1 松山市北条社会福祉センター内

☎ (992) 0117

【対象地域】旧北条市



相談員：辻中聡美・正木新太郎・松本詩織（回復期リハビリ病棟）
和田千佳（医療療養病棟）

看護師：三井稲子・上岡かよ子

ケアマネ：平田美穂子（居宅介護支援事業所『福角の里』兼務）

理学療法士：川口有里子（訪問看護ステーション『福角』兼務）

代表：黒河文博

☎地域連携室 089 (978) 7756 ※Fax 兼用